

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



7月園だより

〒106-0046
港区元麻布 3-8-15
平成30年6月29日

【プール遊び・水遊びが始まりました！】



【麻布十番商店街に飾ってもらう七夕飾りを親子で作りました】



学び続ける教師

園長 小久保 篤子

連日、ワールドカップロシア大会でのサッカーが盛り上がりを見せています。各国の選手の華麗なプレーに魅了されている方も多いのではないのでしょうか。どのようにしたらそのような力が身に付くのでしょうか。

教育に携わる私たち教師は、日々、研修や研究を通して、自己研鑽に励んでいます。先日、南山幼稚園・南山小学校を会場に、区内の保育園の保育士、幼稚園・小学校の教員、約190名が集い、教育委員会主催による保幼小合同研修会が行われました。内容は公開保育のほか、協議会、講師の文部科学省初等中等教育局幼児教育課 幼児教育調査官 河合優子先生による講演でした。

本園は、保育を公開しました。教員にとって、公開保育というのは、自分の保育を内省する貴重な機会です。同じ遊びでも教員にとって捉え方が異なれば、言葉かけや環境の整え方も用意する教材も異なります。そこで、教師として大切なことは、幼児を深く理解し、幼児の姿や遊びを丁寧に読み取ることです。例えば、子どもたちが楽しんで遊びに取り組んでいれば、「この教材は子どもたちの興味や関心に合っていた」となり、険しい表情で取り組んでいたとすれば、「つまらなそうな顔をしていたのはなぜだろう」「ほかにも楽しめる方法があったのでは」など、多くの反省に気付かされます。そして「明日はこのように設定してみよう」「Aちゃんはまだ取り組んでいなかったから、明日誘ってみよう」など、その日を振り返りながら明日の保育を計画していきます。

より深く多面的に幼児の遊びを捉え、幼児を理解することが翌日の保育につながり、自身の指導力の向上につながります。教師のかかわり方や言葉かけなどを改善し、幼稚園教諭としての専門性を高められるよう努めてまいります。この夏も、本園の教員は研修に出かけます。教育活動に還元できるよう頑張ります！

1学期間、ご理解・ご協力ありがとうございました。

